

回2集



F u - Z i n



第5回

祭り童子集まれ!
楽文コンテスト

各賞受賞作品発表!!

第11号

平成17年10月発行

第5回

祭り童子集まれ! 楽文コンテスト

各賞受賞作品発表!!

博多祇園山笠振興会賞

- 「たいへんな山かさ」 博多小学校三年 芳賀 麻世
- 「お父さんと山笠」 大原小学校五年 安部 みる
- 無題 博多小学校六年 中洲 未来
- 「山笠で学んだことを生かし」 博多中学校三年 安河内百合

NTTドコモ九州賞

- 「風」 博多小学校六年 石橋千早季
- 無題 博多小学校六年 大庭元太郎
- 「博多祇園山笠」 博多中学校一年 岩重 甲喜
- 無題 博多中学校一年 敷田 恵

日本アイビーエム賞

- 「せいどうまわり」 博多小学校一年 野田 裕太
- 「ワクワクドキドキ楽しい山笠」 博多小学校二年 西 津
- 「おまつりについて」 桜原小学校二年 川原 美穂
- 「山笠」 博多中学校一年 松上のぞみ

毎日新聞社賞

- 「はじめての山かさ」 草ヶ江小学校二年 一山 雄太
- 無題 室見小学校二年 原田 健司
- 「山よりはやくはしる」 博多小学校二年 森 百夏
- 無題 博多中学校二年 高内 麻莉

NPO博多の風賞

- 「ちごまいに出ての感想」 博多小学校五年 信川 佳菜
- 「祭りの音」 花畑中学校一年 黒木 誠剛
- 「私のお父さん」 博多中学校一年 井上 美咲
- 「元氣いっぱいあふれる山笠」 博多中学校一年 吉村 和晃

博多祇園山笠振興会賞

たいへんな山かさ

●博多小学校 三年

芳賀 麻世

「んっ今何時だ」

わたしは、今日3時に起き
ました。

山かさだったので、おばあち
ゃんの家に行きました。おば
あちゃんの家に行ったら、も
うかずにいちゃんが着がえて
いました。わたしは「家がと
おいのに早いなあ」と思いま
した。わたしはおばあちゃん
に、しめこみと、みずはっぴ
を着せてもらいました。

みんなが着がえたら外に出
て、写真をとりました。おか
あさんが「くらくてうつらな
い」といったら、お父さんが
「半分だけおせば明るくなる

よ」といいました。
おかあさんが、半分だけ、お
したら、ほんとうに明るくな
りました。

明代ねえちゃんと、ゆきみち
ちゃんたちと、お母さんは、大
博どおりに見にいきました。

山かさをはじめって、大黒な
がれのくし田いりタイムは、
31秒だいで、千代ながれも31
秒だいでよかったです。でも
3番でした。つきにとちゅう
まで、お父さんと走って、子
どもが走っている所までおい
つくのが大へんでした。さい
ごに、ちょうないがわかる
ときに、まいごになったのが
くやしかったです。

でも、ひろにいちゃんがおか
しをもつて帰ってきてくれた
ので、とつてもうれしかった
です。10時くらいに家に山か
さで帰る人がいたから、わた
しは「この人帰るのがメチャ
クチャおそいなあ」と思いま

した。

「よし、学校でねむらないよ
うに、がんばるぞ」

お父さんと山笠

●大原小学校 五年

安部 みる

わたしのお父さんは、山笠
に出ています。今年も山笠に
出ました。

山笠のある時は、家におそ
く帰ってくるので、あそべな
いのでさびしいです。

ある時お母さんが

「そんな毎日山笠に行かんで
もよかるうもん。たいがいに
しとかんね」と言いました。

お父さんは

「おれが行かんと山笠が動か
んつたい」と言いました。

お母さんは「あなたが行か
ん時でも山笠は動きよったや
ない。わたしみたもん」と言
いました。

お父さんは「見たならしよ

うがないなあ」と言いなが
ら行ってしまうした。

わたしは、こんなお父さん
が大好きです。

たぶんお母さんもお父さん
のことがほんとは好きなんだ
と思います。

お父さんガンバレ!!

無題

●博多小学校 六年

中洲 未来

櫛田入り

心一つに

かけめぐる

山笠で学んだことを

生かし

●博多中学校 三年

安河内 百合

私は山笠で、一つのこと

一生懸命頑張る姿を見まし
た。

これは、山笠に参加している
男性の姿だけではありませ
ん。山笠を影で支えているこ
りよんさんの姿をみて、こ
のことは言えます。

この姿を見て私は、山笠はい
ろいろなことが学べるすばら
しい祭りだと思いました。

この山笠で学んだ「一つの
ことに一生懸命頑張る」とい
うことをこれからの受験勉強
に生かしていこうと思いま
す。また、私は夏休みこそが
受験勉強を最もしなくては
ならない期間だと思っていま
す。

その期間の目標を「一生懸
命頑張る」とし、一日最低で
も3時間は勉強にとりくむ
ようにしたいです。

最後に、山笠のように熱い
勉強をしていこうと思いま
す。

NTTドコモ九州賞

風

●博多小学校 六年

石橋 千早季

風になる

そんなかつこいいことを楽し
そうに言う

大人たち

そんな山笠(やま)をねむい
目をこすりながら見ている私
風……?????

今私の前を山笠(かぜ)がふ
きぬけていった

そんなこちよい風が私は好
きだ

無題

●博多小学校 六年

大庭 元太郎

オイサオイサのかけ声と
飛んでくるのは清い水

山笠は

博多の風物詩

博多祇園山笠

●博多中学校 一年

岩重 甲喜

僕は、博多祇園山笠に出
て、三つの心を学びました。
一つ目は、年輪尊重の心で
す。

年輪尊重の心は、伝統の心
です。その心は、山笠からま
なびました。なぜなら山笠は
ふるくからのでんとうをうけ
つぎなりたっているからで
す。二つ目は、相互扶助の心
です。相互扶助の心は、助け

合いや支え合いの心です。その心も山笠でまなびました。なぜなら山笠の山は、一人ではもてないからです。

みんな支えあい助け合うからこそ山笠がなりたつからです。三つ目は進取気鋭の心です。進取気鋭の心は、しゅうちゅうして、一つのことのうちこめる心です。その心も山笠でまなびました。なぜなら山笠をするときの心がみんな一つにならないと山がうごかないからです。この三つの心があつてこそ山がうごくし、みんなが一つになれるからです。

無題

●博多中学校 一年

敷田 恵

私は、博多山笠という、やっぱり男の人が頑張つて山をかつぐから動くんだと思つていました。だけど男の人達

だけでは山は動きません。女の子がごりよんさんとして、ご飯やせんたくなどをして男の人の支えにならないといけないというのが今年分かりました。それは、ごりよんさんに中学生も参加できたからです、私は参加できなかったけれど、参加した人を見てると男の人を支えるというのは、言葉では簡単に言えるけど、実際にやってみるとすごく大変なんだというのが分かりました。

私はごりよんさんの活動を見て、山笠にはかつぐ男の人も必要だけど、男の人を支える女の人も山にはかかせない存在だというのが分かりました。私は、今年、ごりよんさんには参加できなかったけど、色んな事がごりよん体験というので分かりました。来年は参加できるか分からないけど、参加できたら一生懸命

支え、もし出れなかったとしても応えんはしたいと思いません。

日本アイビーエム賞

せいどうまわり

●博多小学校 一年

野田 裕太

ぼくは、おとなやまかさのふつかめ、せいどうをまわるとき、にじゅうよんびょうだつたのがとてもうれしかったよ。

ワクワクドキドキ 楽しい山笠

●博多小学校 二年

西津

今年ぼくは山笠で「まねきいた」をもつよ。

「七ばん山笠 西ながれ いせん二区」

まねきいたをもつて楽しいな。

大人になったら、だいあがりをしたよ、ぼくだつて。七月入つて、ワクワク楽しいのは山笠だ。

山笠は、「オイサー！オイサー！」で楽しいな。

「オイサー！オイサー！」水をかけられると、気もちいいよ。

山笠は、「オイサー！オイサー！」町じゅうひびいて楽しいよ。町 みんなが元気になるよ。

おまつりについて

●桜原小学校 二年

川原 美穂

私は、おまつりが大きいです。それはきつと、お父さんが私と同じように、おまつりが大好きで、大きいまつりや

小さいおまつり、いろんなところに、休みだったらいっしょにつれていってくれるからです。

とくに夏は、おまつりがたくさんあるので大きいです。きれいな花火、楽しいほんおどり、心がワクワクとっても楽しいです。でも、ひとつだけとつてもかなしいことがあります。おまつりの時は、たくさんのおまつりがあるので、たぶんおまつりが終わらないけどおまつりが終わると、みんなが帰りだすとゴミばこでもないのに、いろんなところにゴミがたくさん、たくさんとつてもきたないです。どうしてじぶんが食べたりのゴミをきちんとすてられないのですか。となりにすわっていたキレイなゆかたをきたお姉さんは、たべおわるとゴミだけのこしてかえっていきました。「わるいことだとは思わないのかなー」

せつかくの楽しいおまつりなのに、さいごまで楽しいきもちでおうちに帰りたいのに……私はとつてもかなしいです。

山笠

●博多中学校 一年

松上 のぞみ

私の住んでいる博多の町には、七百年以上も続いている伝統的な「山笠」というお祭りがあります。この時期になると、地域と学校が一つになり、子供も大人も協力し合い山笠が始まります。

山笠をかつぐのは、主に男の人たちだから、テレビで山笠をみたことがある人は、男の人のお祭りだと思ったかもしれません。でも、その裏では、地域の女の子の人たちが、とても活躍しています。

私も、何回か手伝ったことが

あるんですが、地域の女の子たちは、子供もいるし、家の仕事もしないといけないというのに、夕方になると、みんなが集まり、山笠が走る前から、ごはんを作り始めます。そして、山笠がもどってくる前に、ごはんを机に運び、男の人たちが、もどってくるのをまっています。そして、みんなが食べ終わったあとを、片付けるのも、女の子たちです。私は、女の子たちは、すごいなど、いつも思っています。そしてすごいと思えた時にやっぱり山笠って楽しいな、博多の町の人たちの、山笠に対する思いは、大人も子供も女の子たちも男の子たちも、同じくらいあるんだなと思いました。そして今までも七百年も続けてこれたのはみんなの感謝の気持ちがあったからだと思います。

私はこれからも、ずっとず

っと、感謝の気持ちを忘れず、山笠の時のように、地域の人たちが、協力し合い、仲良く暮らしてほしいと思っています。そして、千年も二千年も、山笠を続けてほしいと思います。

毎日新聞社賞

はじめての山かさ

●草ヶ江小学校 二年

一山 雄太

15日のおい山かさにてました。ぼくは、八幡山かさに出ました。くし田じんじゃを通ったタイムでじゅんいをきめます。一ばん山かさの千代

ながれのタイムは、31びょう27でした。2いだったけれど、いきおいがあり、足がはやかたように思いました。ぼく

たちは、かき山でなく、かざり山なので、42びょう86かかりました。山をかついでいる大人たちははしっているとき、めちやくちゃふんばっていました。大人たちは、力もちでかつこいいなと思いました。ぼくは、先ばしりで、くし田じんじゃにさきに入ったので、たくさんのはく手がありました。ぼくは、ちよつとはずかしかつたです。じんじやをぬけて町に出ました。と

中で水をいっぱいかけられました。とても、つめたく、気持ちよかつたです。また、はか多小学校の前を通過して、川ばたしよう店がいで八幡山かさの山おろしをしました。さいごには、はか多手一本をしました。

よるねむらずに、おきていてはしつたのでねむかつたけれど、とても楽しかつたです。またらい年も出たいです。

無題

●室見小学校 二年

原田 健司

はじめての

しめこみすがた

男だぜ

山よりはやくはしる

●博多小学校 二年

森 百夏

わたしは、火曜日に、くしだいのれんしゅうをくしだじんじゃでしました。くしだいのれんしゅうでまわりどめをしました。まわりどめは、山やかついでいる人がぼうみたいなのにぶつからないようにするのがまわりどめです。わたしは、ずっとはしっていてあしがつかれたけど、えびすながれのタイム33びょう34か35でした。もういっこの、まわりどめもありました。

それは、でんしんばしらについていて赤いはたでまわりどめとかいてありました。そこまでがんばってわたしは、はしりはしりつづけました。やっとゴールまでできました。赤いはたのところまできたえびすのタイム28ふん26びょうです。ちよつびりおそいタイムですけどいっしょうけんめい山をかついだ人とかわたしもはしってあしがいたかったけど、えびすの人みんながんばったからそれでいいです。まわりどめまでついてあとちよつとはしりました。えびすさまをおくところまできたらいいわいめでたをうたいました。いわいめでたをうたうときははちまきをはずしてうたいました。そして、えびすのてんとで、おかしのけんをもらいました。それは500円と100円と1000円のチケットをもらいました。それはフ

アマリーマートでつかえるけんでした。つぎに、子どもは子どもでおとなはおとなでなにかをたべました。それはやきにくやシチューやサンドイッチなどがたべられました。

無題

●博多中学校 二年

高内 麻莉

お櫛田へ

博多をよぎる

山笠の

すれちがう人

みな美しき

ちごまいに出ての感想

●博多小学校 五年

信川 佳菜

五月三日と四日、この二日間は、博多どんたく、松ばやし、ちごまいなど、いろいろな行事があります。

私は、その行事の中の、ちごまいで、まいひめとして出ることにになりました。

三か月の間、週三回の練習があると聞いて、大変そうだと思います。

二月から練習が始まり、三月の中ごろまでは、なかなかうまくできなかつたので、大変でした。

すぐに月が過ぎ、五月になりました。五月三日の朝、私は、この時から、きん張して

いました。朝食を急いで食べ、豊国神社に行きました。もうみんな来ていて、二十分くらい後に、始まりました。最初は、まちがえなかつただけで、ただ一回目が終わっただけでも、汗がたくさん出ていました。これから三十か所くらいまわらないといけないと聞いて、ため息をつきました。

どこに行っても暑く、汗がとまりません。これが明日もあるので、明日は曇りがいいと思いました。

昼ごろになると、弁当をもらいました。20分くらい時間が過ぎ、次の所に移動をしたので、ゆつくり食べられず、まだ空ふく感がありました。

夜、解散して、母と家に帰りました。帰ってすぐにねました。

すぐに4日の朝になり、3日と同じようにして、同じ場所に行きました。

この日は、3日より少し楽しかったです。NHKのテレビ局で、休けい時間があつたので、クイズコーナーなどに行つて少し遊びました。

3日より早く夜になつたような気がします。来年が最後なので、今年より、もっと上手にできるようにがんばりたいと思いました。

祭りの音

●花畑中学校 一年

黒木 誠剛

僕は、小学校の時に、地域で和だいのサークルに入っていました。

友達とたたくたいこは楽しくてたまりませんでした。あのドーン、という音はとても感動します。そのほかにもカ

ネや笛、しめだいこといった楽器もあり、それらが合わさつてすごくきれいな音楽にな

ります。和だいの練習は、慣れるまでが、とても大変です。まず、リズムをとるのが難しいです。手がときどき思い通りに動かない時もあります。そして、一緒にたたいているメンバーと合わせてたたくのも、はじめのうちはすぐ下手でした。しかし、きちんとまわりを見て、楽しくたけば、うまくひけます。

僕達に、たいこを教えてください。メンバーの人達のバチさばきを見ていると、思わず歓声を上げてしまうぐらいかっこいいです。僕はいつも「こんなふうなたたけたらいいな」と思っていました。そのためには、もっと、もっと練習が必要でした。きつい時もあつたけど、がんばる気持ちでいっぱいでした。

夏休みになると、毎年校区の夏祭りがありました。その祭りでは僕達は、いままで練習

してきた和だいのたたきました。はじめはとてもきん張りましたが、たいこをたたいてみると、そんな気持ちはなくなり、観に来てくれた人達も楽しんでくれてるのが分かりました。

演奏が終わり、「ヨイサー」のかけ声が響いたしゅん間、まわりからのすごい拍手がなりました。あの時の気持ちは言葉では表わせないくらいのものでした。

僕はたいこを三年間やってきました。夏祭りや市民センターでの公演などいろいろな場所です。たたまましたが、その中でも、最も思い出深いのが夏祭りです。なぜそうなのかは分かりませんが、僕の中では「祭り」というと「和だいのこ」というイメージがあります。

こをしていますが。しかし、今でもたいこの音を聞くと、なつかしく感じます。短い間でしたが、一生忘れない思い出です。

私のお父さん

●博多中学校 一年

井上 美咲

今年、私のお父さんは、取締になり追い山ならしの時に台上りをすることになりました。男達がオイサ、オイサと山をかつぎながら走っていく中、お父さんは台上がりをして「右に行け!!、しっかりかつげ」など、声を出していました。

られませんでした。そしてとうとう山笠がおわり各流に帰り。いわいめでたを歌い、手一本を入れおわたあと、お父さんの目から、なみだが出て来ました。最初はどうして泣いているのかなと思っていました。でもあとからお父さんにとって、いい山笠が出来たんだなと思いました。

元気いっぱいあふれる山笠

●博多中学校 一年

吉村 和晃

ぼくは、山笠が大好きです。それは、山笠は元気があふれた祭りで、みんながぎわえるような行事だからです。

「ワクワク」しました。後おしをしたり、子供のめんどろをみたりしました。その中でも一番好きでやりたい仕事は水かけです。

そのわけは、水かけは、かっいでいる人たちの勢いを良くするから水かけは山笠にとって、とても大切な役割だからです。

ぼくは追い山ではじめての水かけをしました。最初は水があたらなくて大人の人に注意ばかりされていたけど、その注意されたことを意識しているうちにあつたりして良くなることができました。ぼくは今年の山笠は、いろいろ学べたりできて、とても元気あふれる行事だと思います。

そんな山笠にぼくは、毎年参加しています。それに今年は若手入りなのでますます

NPO博多の風のあゆみ

平成 10年9月	任意団体「博多の風」設立 代表：大庭宗一
同年10月	第1回博多の風フォーラム開催 講師：松本龍氏（衆議院議員）
11年4月	第2回博多の風フォーラム開催 講師：倉田 眞氏（毎日新聞編集局長）
同年10月	第3回博多の風フォーラム開催 講師：沢田幸二氏（九州朝日放送アナウンサー）
12年4月	第4回博多の風フォーラム開催 講師：坂口卓司氏（RKB毎日放送アナウンサー）
同年5月	大庭宗一と博多の風の仲間たち監修 「山笠の風」出版 同出版記念パーティ開催
同年5月	NPO（特定非営利活動法人）認証取得 理事長：大庭宗一
同年6月	NPO博多の風として登記
同年10月	第5回NPO博多の風フォーラム開催 講師：緒方邦博氏（プランニング秀巧社社長）
同年11月	山笠交流会館建設提言書、福岡市長へ提出
13年4月	第6回NPO博多の風フォーラム開催 講師：後藤豊彦氏（福岡銀行相談役）
同年5月	作文コンクール 「第1回 祭り童子集まれ！楽文コンテスト」 実施（5/1～7/31）
同年7月	「NPO博多の風フォーラム」 福岡県21世紀記念事業認証取得
同年10月	福岡県21世紀記念事業 第7回NPO博多の風フォーラム開催 講師：後藤久義氏（博多祇園山笠振興会会長） 永吉和幸氏（毎日新聞社福岡総局長） 緒方邦博氏（プランニング秀巧社社長） 「第1回 祭り童子集まれ！楽文コンテスト」 優秀作品表彰式
14年4月	第8回NPO博多の風フォーラム開催 講師：安達一成氏（毎日新聞社記者） 「博多の風ホームページ」開設
同年4月	第1回 クリーン作戦開催
同年5月	「探訪!! 博多祇園山笠 追山コース」開催
同年6月	作文コンクール 「第2回 祭り童子集まれ！楽文コンテスト」 実施（6/1～9/2）
同年7月	「NPO博多の風広報誌：風人」発行
同年10月	第9回NPO博多の風フォーラム開催 講師：高橋慶彦氏（元プロ野球広島東洋カープ）
同年11月	第2回 クリーン作戦開催
15年4月	第10回NPO博多の風フォーラム開催 講師：永守良孝氏（RKB毎日放送株式会社 取締役）
同年5月	第3回 クリーン作戦開催
同年6月	「第2回 探訪!! 博多祇園山笠 追山コース」開催 作文コンクール 「第3回 祭り童子集まれ！楽文コンテスト」 実施（6/1～9/2）
同年10月	「NPO博多の風広報誌：風人」発行
同年11月	第11回NPO博多の風フォーラム開催 講師：奥田智子氏（九州朝日放送アナウンサー）
同年11月	第4回 クリーン作戦開催
16年4月	第12回NPO博多の風フォーラム開催 講師：ウー・C・リー氏（在福アメリカ領事館主席領事）
同年5月	第5回 はかたの町クリーン作戦（雨天中止）
同年6月	「第3回 探訪!! 博多祇園山笠 追山コース」開催
同年7月	作文コンクール 「第4回 祭り童子集まれ！楽文コンテスト」 実施（6/1～9/2）
同年10月	「NPO博多の風広報誌：風人」発行
同年10月	第13回NPO博多の風フォーラム開催 講師：富永倫子（RKB毎日放送アナウンサー）
同年11月	第6回はかたの町クリーン作戦開催
平成 17年4月	第14回NPO 博多の風フォーラム開催 講師：松田浩氏（アビスパ福岡監督）
同年5月	第7回はかたの町クリーン作戦開催
同年6月	「第4回 探訪!! 博多祇園山笠 追山コース」開催 「第5回 祭り童子集まれ！楽文コンテスト」 実施（6/1～9/1）
同年10月	「第15回NPO 博多の風フォーラム」開催

NPO特定非営利活動法人



〒812-0027

福岡市博多区下川端町8-16 -302

TEL&FAX 092-263-7188

E-Mail npokaze@juno.ocn.ne.jp

URL http://hakatanokaze.jp

「NPO博多の風事業概要」

- 博多の町の伝統文化を次世代に引き継ぐ啓発事業
- 「博多の風フォーラム」の定期開催
- 博多の町の地域振興活動
「探訪!!博多祇園山笠 追い山コース」事業
- 博多の町の地域清掃活動「クリーン作戦」事業
- 「祭り童子集れ！楽文コンテスト」事業
- 山笠山台の技術継承活動事業
- 博多祇園山笠振興に関する活性化事業のお手伝い
- 青少年スポーツ振興に関する支援・協力事業

題字：新井光寿

